

大阪湾の磯の生き物観察シート

No.4 ときどき見られるヤドカリ

大阪湾の磯にいる、比較的見る機会の少ないヤドカリについて紹介します。



クロシマホンヤドカリ（甲長 0.4 cm）



クロシマホンヤドカリ

クロシマホンヤドカリは小型のヤドカリです。石の下などに隠れていることが多く、見つけにくいかもしれません。短い方の触角である第一触角が朱色であること（矢印）、脚の各節に縦に連なった数本の黒褐色の線が入ることが特徴です。



ユビナガホンヤドカリ（甲長 0.3~0.4 cm）



ヤマトホンヤドカリ（甲長 1.3 cm）

ユビナガホンヤドカリは干潟や河口に多い種類ですが、磯でも時々みられます。干潟で見られる個体と違い、小型で模様のはっきりする傾向があるようです。磯でみられるユビナガホンヤドカリはクロシマホンヤドカリと非常によく似ていますが、両者の比較では脚の先端の節（指節）がその次の節（前節）より長く、また第一触角が赤くないことで見分けられます。

ヤマトホンヤドカリは大型になる種類です。赤白の脚と緑の大きな眼、短毛に覆われたとても大きなハサミ脚が特徴です。コシダカサザエなどの巻きの太い丸い貝殻を好み、潮だまりの大きな岩の影に隠れています。